

山名一族会報

全国
山名氏一族会
667-1311
兵庫県美方郡
香美町村岡区
村岡2365

赤穂で役員会開催

去る2月22日、山名義範理事長様のお膝元、赤穂市にて役員会を催し、H25年の活動のことなどを相談させて頂きました。山名理事長様・山名嗣宣理事様には役員会場ご提供、市内案内とご面倒をお掛けいたしました。深く感謝申し上げます。

午前11時にJR赤穂駅に集合し、まずは山名理事長のご案内で、赤穂浪士有縁の花岳寺へ。掃き清められた山内を散策し、四十七士の墓地や史料館などをゆっくりと参拝し参観させて頂き、赤穂城



役員会前に義士の墓前参拝



花岳寺本堂前で

跡公園など赤穂藩五万石の、いや製塩を背景として石高以上の風格と風情を十分に堪能させて頂きました。市内見聞の後は理事長様ご臈原のお店で瀬戸内の幸盛り沢山の昼食。そ



役員会場の専念寺

の後、会場を理事長様のご自坊・専念寺へと移し、次回理事会上程する原案を相談させて頂きました。理事長様・理事様のお取りはからいで「観光に、会議に」有意義な

時間を過ごさせて頂きました。まことにありがとうございました。

役員会概要

会員数の報告

2月末現在で会員数は32名となり、H25年度は会員数50名以上を目指し活動を行う。

H25総会について

今後の総会の持ち方等を含め相談をさせて頂きました。

播州赤穂山名氏

応仁の乱後の混乱により、山名氏は播磨経営から退いてゆく。赤穂山名の祖、山名三郎左衛門利氏は播州を去る山名本軍から離れ家臣36名と共に、千種川流域の赤穂周世の地を開き定住。利氏はそ

の後法名を「玄誓」と名乗り出家、集落の中心に庵を結び「専念寺」とする。以降「専念寺」を中心として村落・畑の整備を営々と重ね現在に至る。今でも周世周辺は「山名庄」と呼ばれる。現当主義範氏(山名会理事長)は赤穂山名初代利氏公より数えて十六代目。

山名利氏(玄誓)

- 了牧
- 了風
- 了義
- 了道
- 了界
- 了智

赤穂
山名定紋



登録台帳データより抜粋

「六分一殿山名・西
国各地で総会を実施」

等のご意見を頂きまし
た。現在のところはまだ
会員数も十分でなく、

*この数年は役員・事務
局中心に総会を企画す
る。

*事務局準備等を考える
とH25年総会は但馬で
行う方向でお願いした
い。

*コースについては出石・
竹田城を巡るコースな
ど理事会までに幾つか
考えておく。

*会計面に付き、前回参
加費（2万5千円）で
は、足り苦しい状況。

*H25総会の実施時期は
役員間で調整したとこ
ろ、10月12日（土）
13日（日）に実施予定。

と言った方向で考えて
いますが、具体的なこと
は理事会でご相談いた
いと存じます。

理事会の開催

役員会で相談した原案を

元に、左記日程の如く理
事会を開催いたしたいと
思います。皆様ご多忙な
折かと存じますが、ご参
集お願い致します。

議事：H25年度の諸事業
について。

期日：H25年4月13日
（土）

会場：兵庫県芦屋駅前・
ホテル竹園芦屋1F
「ラルー」

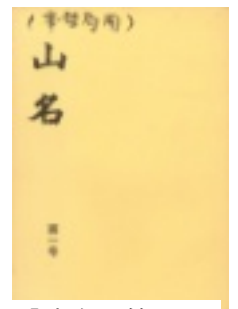


芦屋駅前・ホテル竹園

（理事様には後日、詳
細案内発送）

小冊子「山名」の復刊

* 前事務局が3号まで発
行された「山名」の後



「山名」第1号

を続けて、定期的に発
行を継続する。

* 発行の目処は各年次総
会に合わせて配本でき
るように作業を進める。

* 復刊号は特にテーマを
絞らず、自由に寄稿願
う。

山名会会章の作成

* 会章を作成する方向
次回理事会で見積もり
提示。



会章
イメージ

小冊子「山名」(復刊号)への寄稿お願い

H25総会での配本を目標に
当会の小冊子「山名」を刊行
したいと願っておりま
す。「山名」は山名章前会長
様が3号まで刊行された冊子
で、会の再興に合わせて今後
も定期的な刊行を予定してお
ります。つきましては会員諸
氏には復刊号へのご寄稿をど
うかよろしくお願いいたしま
す。
寄稿テーマにつきまして
は、特段限定しておりませ
ん。「山名氏」に対する歴史考察。
* 各家に語り継がれた伝承。
* 山名会に期待すること。
* H24年総会の感想…、是非
ともお気軽に投稿お願いいた
します。

会員登録台帳ご記入のお願い

会費領収証と共にお送り致
しました「会員登録」への
記入をお願い致します。
明確な系図など分から無く
ても「各家の言伝え」等、ご
存じの範囲で結構です。
「言伝え」と雖もどこかで
記録しておかねば風化してし
まう事も考えられます。この
際に貴家の歩みを整理されて
みては如何でしょうか？山名
会ではお寄せ頂いた情報を台
帳に記録し、家紋図案を作成
させていただきます。未永く管理させ
て頂きます。他家と意外な接
点が見出されることもありま
す。是非お願い致します。
送付先はご案内封筒の下部
に明記してございます。F A
Xやメールでも構いませんの
で、是非ご記入ください。
（表紙の「赤穂山名」の説
明は台帳データからの抜粋）